

## CLOSE UP!



## 安全管理対策室が「安全管理部」及び「感染制御部」に改組されました

本院では、安心して安全な医療を提供するため、これまでも安全管理対策室を中心として医療の質と安全性を向上させるための取り組みを推進してきました。平成26年4月からは、さらなる充実を図るため、安全管理対策室を「安全管理部」及び「感染制御部」に改組し

ました。特に感染制御部は、県内で不足している感染専門医を育成するという新たなミッションに向けて動き出しています。今号では、新しく発足した安全管理部及び感染制御部の活動についてご紹介します。



■説明は、  
徳島大学病院  
安全管理部  
加藤 真介(かとうしんすけ) 部長  
感染制御部  
東 桃代(あずまももよ) 副部長

### ● 感染に関わる人材を育成し、徳島県全体の感染対策の基盤強化を目指す

徳島県は感染を専門とする医師が少なく、総合病院で働く医師数は全国ワースト2位です。そのため他県に比べ、感染制御・感染症診療が遅れているといわれています。

感染の専門家を育成することは急務ですが、今までは県内に教育のための施設や研修会などの受け皿がありませんでした。今回の改組の大きな目的の一つとして、本院の感染制御部が中心となり「感染症のプロを育成、特に不足する感染専門医の育成を目指す」というねらいがあります。

その第一弾の取り組みとして、「徳島大学病院感染研修プログラム」が動き始めています。

このプログラムは、

- 1 本院の内科系診療科、集中治療部、脳卒中センターなどで発生する感染症を横断的に研修することが可能。
- 2 希望者には、上記以外の感染症例もコンサルテーション症例で経験が可能。
- 3 抗菌薬カンファレンスや環境ラウンドなどのチーム医療の経験が可能

という特色があり、幅広い感染症の診断や治療、そして感染制御の豊富な経験と実践的な知識を身につけることができるカリキュラムとなっています。感染のプロを一人でも多く養成し、徳島県全体の感染対策の基盤強化を目指しています。

本院内の感染予防対策にも引き続き精力的に取り組んでいます。患者さんを感染症から守り、安心・安全な医療を提供するため、スタッフへの教育や啓発活動、診療科への情報発信、また医療現場への巡視を日常的に行っています。

### ● 安心・安全な医療を提供するための活動

安全管理部の主な活動の一つに、「インシデントレポートへの対応」があります。

インシデントレポートとは、各医療現場から「ヒヤリ」としたこと、「ハッ」としたことに対して、その原因や再発防止策を記した報告書です。安全管理部では、その内容を確認し、確実に再発が防止されるかどうかを分析・評価します。

そして、「インシデント」が「アクシデント(医療事故)」になら

ないために、現場に足を運び、検証し、より実効性の高いものへと作り上げることにより、1つ1つのリスクの芽を摘み取っています。

このような日々の活動に加え、研修会の開催や医療上の事故防止対策マニュアルの整備など、院内の安全向上のための様々な取り組みを行っています。最近の1年間では報告件数は1.7倍となり、安全意識の広がりが実感できます。

